

鷹羽弘晃（たかは ひろあき）先生のプロフィール

2001 年桐朋学園大学作曲理論学科卒業。

パリ・エコール・ノルマル作曲科にて Diplôme Supérieur 取得。

第 68 回日本音楽コンクール作曲部門入選。

作品は Ensemble Alternance、アール・レスピラン、アンサンブル・ノマド、日本音楽集団等によって演奏されている。

2010 年には Tokyo Wonder Site の二国間交流事業プログラムによってフィンランドに派遣され、Avanti! Summer Sounds、Time of Music 音楽祭

にて自作のプレゼンテーションを行った。作品に、混声合唱とピアノのための「ブルレスカ」、マンドリンとピアノのための「水上の月」、弦楽のための「パターン・カット」などがある。また、NHK 全国学校音楽コンクール中学校の部の課題曲（「手紙」「Yell」）など、合唱を中心に編曲も多く手掛けている。



ピアノ演奏で 1999 年第 9 回日本室内楽コンクール第 1 位（ヴィオラ奏者との共演）。2015 年にはコンサートシリーズ MULTUS#3 の 4 台ピアノ曲の演奏ツアーに参加するなど現代音楽での活動や、室内楽や合唱団との共演も多い。

その他に、現代音楽を中心に指揮活動も行っている。指揮をつとめた和楽器と古楽器による「アンサンブル室町」の公演が 2013 年度の佐治敬三賞を受賞した。

現在、母校や附属の音楽教室などでソルフェージュを中心に音楽教育に携わる他、NHK-FM「ビバ！合唱」のナビゲーターなど活動は多方面にわたる。

作曲ではソルフェージュ教育現場から着想される独自の音楽を探求している。